

## 令和 6 年度国民健康保険事業費納付金の本算定結果の概要について

### ○ 事業費納付金について

- (1) 令和 5 年 12 月末に国から示された確定係数に基づき算定した事業費納付金（以下「納付金」という。）総額は約 590 億 2,048 万円と、前年度の本算定結果（約 590 億 9,087 万円）と比較して約 7,038 万円（0.12%）減少し、ほぼ横這いであった。
- (2) 納付金総額が横這いであった主な要因は、保険給付費見込みが約 2 億 7 千万円減少することにより納付金総額が減少する一方で、それに伴い国からの療養給付費等負担金見込みが約 1 億 9 千万円減少するほか、基金繰入金（特例基金・激変緩和分）総額約 1 億 8 千万円が令和 6 年度はなくなることで納付金総額が増加することなどによるものである。
- (3) 市町村ごとの納付金総額では 17 団体が増加、18 団体が減少となった。前年度の本算定結果では 30 団体が増加、5 団体が減少であった。
- (4) 被保険者 1 人当たりの納付金は、被保険者数の減少により 144,026 円と、前年度の本算定結果（137,535 円）と比較して 6,491 円（4.72%）増加した。
- (5) 市町村ごとの被保険者 1 人当たりの納付金では 33 団体が増加、2 団体が減少となり、最大の伸び率は 12.38%（15,687 円の増）であった。

年 度	令和 6 年度	令和 5 年度	対前年度	
			増減数	増減率
納付金総額	59,020,484,091円	59,090,865,714円	▲ 70,381,623円	▲ 0.12%
被保険者数（一般分）	409,789人	429,640人	▲ 19,851人	▲ 4.62%
被保険者 1 人当たり納付金（一般分）	144,026円	137,535円	6,491円	4.72%

市町村ごとの伸び率 (被保険者 1 人当たり納付金 [一般分])		増 加	減 少
対前年度	増減数	33団体	2団体
最 大		12.38%(15,687円)	

## 2 標準保険料率（理論値）について

【資料 1 - 2】「令和 6 年度国民健康保険事業費納付金及び標準保険料率（理論値）」  
のとおり。

## 3 令和 6 年度における各市町村の保険料（税）率の改正に関する検討状況 （令和 6 年 1 月 2 5 日 現在）

- (1) 令和 6 年度の国民健康保険料（税）率の改正に関する検討状況の調査を行ったところ、その結果、「改正する予定」であると回答したのが 12 団体（34.29%）、  
「改正しない予定」であると回答したのが 20 団体（57.14%）、「現時点では分からない」と回答したのが 3 団体（8.57%）になっている。
- (2) 「改正する予定」であると回答した 12 団体のうち、10 団体が引き上げの見込み、1 団体が引き下げの見込み、残りの 1 団体が「現時点では分からない」と回答している。

令和 6 年度における各市町村の国民健康保険料（税）率の改正に関する調査結果		
	団体数	割合
改正する予定	12団体	34.29%
引き上げの見込み	10団体	
引き下げの見込み	1団体	
据え置きの見込み		
現時点では分からない	1団体	
改正しない予定	20団体	57.14%
現時点では分からない	3団体	8.57%

（令和 6 年 1 月 2 5 日 現在）